

## 2018年成果発表会メンバーアンケートの結果

### \* 次年度参加する後輩たちへのメッセージ

1	TUGシステム研究会に参加したからには、とにかく楽しんで活動してほしい！ また、分科会の活動を通してメンバーと議論し、協力して進めていく中で、強い絆が生まれるので、出会ったメンバーとの繋がりを大切にしてほしい。
2	この研究会に参加する時には、どうなるかと不安を抱えておられると思いますが、大丈夫です。日常の業務では得られない色々な経験ができて、楽しいことがいっぱいあります。研究が行き詰ったときや、メ切に追われて宿題が多くなる時など、大変な時期もあるかもしれませんが、同じチームのメンバーが仲間となって乗り越えていくことには、想像する以上にやりがいを感じられますし、達成感が得られます。このような経験をできる機会はそうそう無いと思いますので、ぜひ前向きにチャレンジしてください。
3	業務に関係する事を研究する事も良いですが、日常生活で困っている事を解決するような仕組み・アプリを開発するのも面白いと思います。今年は、そのような観点からアプリ開発を行いました。面白い発想をするメンバーがいるのであれば、業務から離れた事をするのもいいと思います。
4	・研究は1年限りですが、TUGを通して築いた関係は1年限りではありません。企業間の繋がりだけでなく、個人としての人脈を作るチャンスだと捉えて参加されると良いのではないのでしょうか。
5	他社の方と関わる機会は少ないので、是非とも参加していただき、1年かけて親睦を深めていただきたいと思います。
6	途中、壁にぶち当たることや、不満が出てくることも有るかもしれませんが、全て乗り越え、終えた後には全て自身にとってプラスになります。頑張ってください。
7	私はこの分科会を通して、普段は触れる機会のないような人や知識にたくさん出会うことができました。皆さんも新しい経験を得るチャンスを逃すことなく、臆せずチャレンジしてみたほうが良いと思います。
8	「研究」と聞けば、少し身構えてしまうかもしれませんが、好きなことや、やりたいことを追求してください。
9	TUGに参加した皆さんに約1年間の研究期間が与えられますが、この期間をどれだけ有意義なものにできるのかは、参加者の熱意によって異なります。皆さんの1年間の活動が充実したものになることを祈っております。
10	業務との平行作業になるので、大変な時期が多くなると思いますが、苦勞した分、達成感を感じることができると思うので、ほどほどに頑張ってください。
11	大変なことも沢山あると思いますが、必ずいい経験になると思います。メンバーの皆さんと協力し、楽しみながら頑張ってください。
12	自分の意見を積極的に出しましょう。
13	様々な企業の方と交流でき良い刺激となります。研究会活動も自分のやりたいことを提案できるので楽しく参加できました。
14	各々の個性を発揮して、とにかく楽しく活動してください。
15	メンバーとのコミュニケーションの取り方と作業進捗の管理・確認の方法等、共通ルールを決めた方が良いです。自分が、どうやってチームに貢献できるかを考えて自分発信で行動することも大切です。終わり良ければ総て良し。紆余曲折も見方を変えて楽しみましょう。
16	普段の仕事では関わりがない他社の方々とは1つの研究を行えるのは、とても貴重で有意義な時間となります。ぜひ参加し、体験してみたいです。
17	せっかくの機会ですから、日頃出来ない事、やらないことにチャレンジしてみるべきだと思います。全員がおそらく初めてですので、何をしたら問題ないと思います。方向性がずれていったら、アドバイザーの方がフォローして下さると思います。チャレンジしてみるべきだと思います。
18	分科会の場にお土産やお菓子を持っていくなどして、良い雰囲気づくりから始めましょう。
19	分科会の年間スケジュールと各分科会で、その日にやること(決めること)を6月の合宿の時点で決めておいた方がよいです。その後、軌道修正が入る事もあるかと思いますが、チーム内で事前に検討し、ある程度決めておくのは早いに越したことはありません。

## 2018年成果発表会メンバーアンケートの結果

### \* 次年度参加する後輩たちへのメッセージ

20	研究会を通して、年間で色々な苦労や努力を行うことと思いますが、新しいことにチャレンジしていきましょう。失敗しても問題ありません。そういった場所が研究会なのだから。
21	業務を優先する気持ちもわかるが、自分が参加した目的を達成するため、貪欲に取り組んでほしい
22	後半になるほど、仕事との両立が大変になるが、日頃の業務では得られない経験が得られるのでぜひ頑張してほしい。
23	業務多忙と思いますが、自分が納得するまで研究を行うことで得られるものは大きいです。受け身ではなく、積極的な姿勢で参加することをお勧めします。
24	実際の業務と違って、失敗が許される場だと思います。自分を成長させる場として研究会活動を活用すると思います。そして、その成長を実業務に活かしてください。
25	自分達が決めた研究会としてのテーマを最後まで成し遂げられるように頑張ってください。
26	成果発表でのプレゼンテーションは、先輩メンバにやり方を聞いてください。
27	テーマ選定から最終発表までの活動は、一つのプロジェクトを回すことに似ていると思います。計画の設定から課題発生時の対応を他社のメンバーと解決することで、普段の業務では得られない貴重な経験が得られると思います。
28	技術的にもチームワーク的にも良い経験になりました。特にテーマ決めから行う関西分科会は自由度が高くやりがいがありました。